

画家と小説家

～知られざる交流のものがたり～

日時：平成 31(2019)年 2 月 2 日(土)

午後 2 時から 3 時 30 分 (開場 1 時 30 分)

場所：大阪市立中央図書館 5 階 中会議室

講師：高柳有紀子

(大阪中之島美術館準備室 主任学芸員)

林 亜紀 (大阪市立中央図書館司書)

主催：大阪市立中央図書館・大阪中之島美術館準備室

定員：60 人 申込不要 当日先着順

対象：どなたでも 参加無料

大阪に生まれ活躍した画家と、同時代の小説家との知られざる交流について、大阪中之島美術館準備室の学芸員と、図書館司書が、それぞれ解説・紹介します。

いのうえ やすし
井上 靖

1907 年北海道生まれ。1991 年没。
「大阪毎日新聞」で 15 年間の
新聞記者生活のあと作家活動に
入る。国枝金三との交流について
は『忘れ得ぬ芸術家たち』(書誌
ID:0080025552)に所収。

×



「中之島風景」国枝金三 1927 年

くにえだきんぞう
国枝金三

1886 年大阪生まれ。洋画家。1924 年小出檜重ら
と大阪に信濃橋洋画研究所を開設。「大大阪」時
代の都市風景を好んで描いた。

掲載の絵はすべて大阪中之島美術館蔵

「画家と作家～知られざる交流のものがたり～」関連図書展示

平成 31(2019)年 1 月 18 日(金)～2 月 20 日(水) 大阪市立中央図書館 地下 1 階 芸術コーナーにて

交流のあった画家と小説家は、他にもこのような人々を取りあげます



さえきゆうぞう
佐伯祐三

1898年大阪生まれ、1928年没。洋画家。東京美術学校卒業後渡仏。「夭逝の天才画家」と呼ばれた。

×

せりざわこうじろう
芹沢光治良

1896年静岡県生まれ、1993年没。東大経済学部を卒業、農商務省に勤務後、渡仏。ソルボンヌ大学に留学し、パリにいた佐伯と交流をもつ。

「街角の広告」佐伯祐三 1927年

なべいかつゆき
鍋井克之

1887年大阪生まれ、1969年没。洋画家。宇野浩二とは天王寺中学校以来の友人。宇野の本の装丁も多数手がける。エッセイストとしても知られる。

×

うのこうじ
宇野浩二

1891年福岡生まれ、1961年没。8歳から青年時代までを大阪市中央区宗右衛門町で過ごす。著作『枯木のある風景』は小出檜重がモデル。芥川賞選考委員もつとめ、児童文学作品も多く残した。



「兜島の熊野灘」鍋井克之 1965年

×

こいでならしげ
小出檜重

1887年大阪生まれ、1931年没。洋画家。1924年国枝金三・黒田重太郎らと大阪に信濃橋洋画研究所を開設。自身も随筆集を刊行している。



「菊花」小出檜重 1926年



お問い合わせは **大阪市立中央図書館**

《住所》〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

《電話》06-6539-3300(インフォメーション)

《最寄り駅》Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀駅」下車
7号出口すぐ

ホームページアドレス <https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

Twitter(ツイッター)公式アカウント @oml_tweet

FACE BOOK <https://www.facebook.com/osaka.municipal.library/>